

2026 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1年次/1年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//工芸科学教養科目 : //Science and Technology Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月4 : /Mon.4

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111404			
科目番号 /Course Number	10160136			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	現代京都論 : Urban Issues and Problems in Kyoto			
担当教員名 / Instructor(s)	/(藤本 仁文)/他 : FUJIMOTO Hitofumi/etc./			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher	○	代表教員は郡山城史跡・柳沢文庫保存会で学芸員に従事し、分担教員の一人は八幡市教育委員会で文化財保護行政に従事した経験があり、分担教員の一人は裏千家の今日庵文庫の現役司書である。	
科目ナンバリング /Numbering Code				

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	義では、現代京都の特質について、歴史や文化を踏まえながら解説を行う。現代の京都で行われている神事・祭礼・年中行事についての具体像、あるいは日本の伝統文化の中心地としての具体像について解説を行う。具体的には葵祭、祇園祭、茶の湯を中心に取り上げて、その歴史について説明し、将来への継承という側面にも触れながら理解を深めることを目的とする。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	京都を代表する神事・祭礼や伝統文化についての理解を深めることで、その他、全国各地で行われている神事・祭礼や伝統文化についても興味関心を持つ機会として欲しい。
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan		
No.	項目 Topics	内容 Content

1	日	第 1 回	【オンデマンド】ガイダンス、上賀茂神社の歴史と社家
	英		
2	日	第 2 回	上賀茂神社のまつり 1 (賀茂競馬)
	英		
3	日	第 3 回	上賀茂神社のまつり 2 (賀茂祭)
	英		
4	日	第 4 回	上賀茂神社に伝わる文化
	英		
5	日	第 5 回	まとめ (次世代継承の活動と課題)
	英		
6	日	第 6 回	京都周辺の祭礼、八幡神と石清水八幡宮の祭礼
	英		
7	日	第 7 回	近世京の物流、舟運と牛車、車石・車道
	英		
8	日	第 8 回	女性のはたらきと京の花街
	英		
9	日	第 9 回	祇園祭と都の都市環境
	英		
10	日	第 10 回	京の災害復興と祇園祭山鉾の発展
	英		
11	日	第 11 回	茶の湯概論
	英		
12	日	第 12 回	茶の湯の歴史と京都の文化
	英		
13	日	第 13 回	近世茶の湯の書物知と稽古論
	英		
14	日	第 14 回	近代茶の湯の体系化と茶会
	英		
15	日	第 15 回	現代京都の茶家とメディア
	英		

履修条件 Prerequisite(s)

日	
英	

授業時間外学習 (予習・復習等)

Required study time, Preparation and review

日	より理解を深めたい人のために各回で参考文献や資料などを紹介する。また授業で取り上げた史跡や場所に実際に行ってみることも重要である。 ※教材の学習、課題提出、自習等を含め、単位習得に必要な学修時間を確保する計画である。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書/参考書 Textbooks/Reference Books

日	テキストは特に指定しない。講義内容の理解をさらに深めたい人を対象に、各回で参考図書などを紹介する。
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy

日	3名の教員の各課題に対し、授業の内容を踏まえて 800 字程度のレポートを作成すること (それぞれで合格点をとること)。 山本 (第 1~5 回) : 足汰式、競馬、葵祭の行列など講義で説明した一連の行事のいずれかを現地見学して、感想を記述しなさい。 竹中 (第 6~10 回) : 祇園祭について、山鉾建てや会所飾り、山鉾巡行など一連の行事のいずれかを現地見学して、感想を記述
---	---

	しなさい。 徳丸（第 11～15 回）：茶道資料館（メンバーシップ制度に加入）の展覧会に来館し、その感想について記述しなさい。
英	

留意事項等 Point to consider	
日	博物館で学芸員として勤務した経験を有する教員が、担当講師と連携しつつ京都の歴史・文化について解説する。
英	